

ファシリティマネジメントフォーラム2026
第20回 日本ファシリティマネジメント大会

地球の健康と私たちの健康を支える

ヘルスケア施設のFM

2026.2月

JFMAヘルスケアFM研究部会
認定ファシリティマネージャー

清水建設(株) 森 佐絵

mori@jfma.or.jp

sae-m@shimz.co.jp



本日の内容

1. 4年前のSDGs調査の振り返り
2. プラネタリーヘルスという気づき
3. FMとプラネタリーヘルス
4. ヘルスケアFM研究部会の紹介



1. 4年前のSDGs調査の振り返り

- SDGsの視点で考えた時、医療施設には優先して拾い上げる課題がある

たとえば

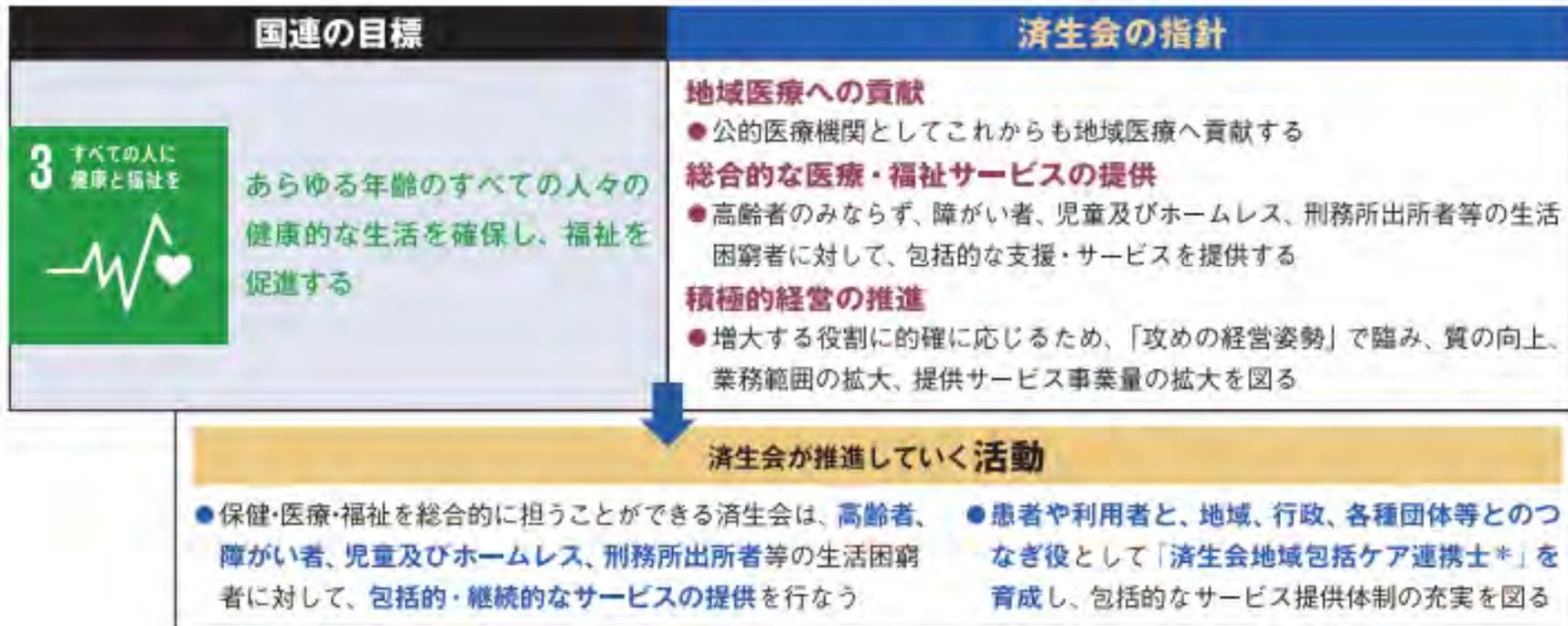
03. すべての人に健康と福祉を
11. 住み続けられるまちづくりを

- 医療福祉施設の環境保全、省エネへの取り組みはまだ限定的だった



1. 4年前のSDGs調査の振り返り

03. すべての人に健康と福祉を



写真＝2016年8月の台風被害で運営を休止した(岩手)岩泉町立安家(あつか)診療所の診療が再開。岩泉病院では医師や職員を派遣している



1. 4年前のSDGs調査の振り返り

11. 住み続けられるまちづくりを

国連の目標	済生会の指針
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市および人間居住を実現する</p>	<p>医療・福祉の周辺分野への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">● 医療、福祉、住まい、就労、教育、生活費等の多種多様に複雑化した問題を抱え、多様な援助を必要とする人々への支援 <p>まちづくりへの寄与</p> <ul style="list-style-type: none">● 行政、団体、企業等と連携し、経済、社会、文化、環境など多様な面で発展するまちづくりへ寄与する
<p style="text-align: center;">済生会が推進していく活動</p> <ul style="list-style-type: none">● すべての人々が安心して住み続けられるまちづくりのために、高齢者、障がい者、児童及びホームレス、刑務所出所者等すべての人々に対して、保健・医療・福祉サービス等の提供を通じて、雇用創出、産業振興、居住人口増加等の機能を果たし、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるようなまちづくりに寄与する	



写真＝兵庫県済生会が神戸市の団地に開設した高齢者向け相談所「なでしこ暮楽部」。孤独死等を防ぐため、職員が団地を巡回・訪問している

1. 4年前のSDGs調査の振り返り

13. 気候変動に具体的な対策を

国連の目標	済生会の指針
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	<p>災害対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none">● 病院におけるBCP(事業継続計画)マニュアルの整備● 広域災害を想定した訓練の実施● DCAT(災害派遣福祉チーム)の派遣体制の構築● 東日本大震災復興支援事業の推進
	<p>済生会が推進していく活動</p> <ul style="list-style-type: none">● 気候関連災害や自然災害等に対処していくために、本会病院のBCPマニュアルの整備、複数病院間で連携する広域災害を想定した災害医療訓練の実施、ロジスティクス担当者の育成を進める● DCAT(災害派遣福祉チーム)*の派遣体制を構築する● 陸前高田診療所において被災地の医療・福祉の再建支援事業を進め、地域の活性化に取り組む



写真=2016年8月の東北地方を襲った台風10号による被害で支援活動中のDCAT隊員

1. 4年前のSDGs調査の振り返り



問い
「SDGs・ESGに関して具体的に行動していますか？」

病院/医療/福祉/介護施設(70)
 行動している 8.6%
 どちらともいえない 14.3%
 行動していない 77.1%



図表8 所属先企業・団体等の業種と具体的行動

1. 4年前のSDGs調査の振り返り

2022年から比べて発信が増え、医療者側の着眼点も広がってきた

- ✓ 最近では取り組みや成果を公表する施設が増加
- ✓ 医療者側がFMに着目し始めた
- ✓ エネルギーをたくさん使う病院施設にフォーカスする価値がある
 - プラネタリーヘルスの観点から



2. プラネタリーヘルスという気づき



2. プラネタリーヘルスとは



定義と背景 (WHOやThe Lancetの概念)

地球の健康と人の健康は相互に依存しているという概念

定義	人の健康と地球の自然システムの健全性の両立を目指す新しい健康概念
背景	気候変動・生物多様性の喪失・資源の枯渇といった地球規模の課題が人間の健康に深刻な影響を与えている
提唱者	ロックフェラー財団とLancetによる共同委員会(2015年)『人新世における人間の健康の安全防護策』で提唱
国内の関連機関	プラネタリーヘルスアライアンス日本 HUB 日本医療政策機構 長崎大学 京都大学 東京科学大学 他

2. プラネタリーヘルスの重要性

結果として医療機関の負担も増大するという危機感

- ✓ 地球規模の課題が私たちの健康に直接的かつ深刻な影響
- ✓ 熱波による健康被害、異常気象による災害、感染症リスクの増加
- ✓ 医療機関が直面する健康課題と密接に連動
- ✓ 取り組みや体制の例:

東京科学大学(旧東京医科歯科大学・東京工業大学)の融合研究

長崎大学(プラネタリーヘルス学環)



2. プラネタリーヘルスの具体的な取り組み

医療者の着眼点

第84回日本公衆衛生学会総会のセッションから

「自治体×プラネタリーヘルス×公衆衛生」（2025年10月29日）



■ プラネタリーヘルスとは何か

渡辺知保氏(長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授)

「気候変動」「生物多様性の喪失」「環境汚染」という三重の危機が最終的に人間の健康とウェルビーイングに跳ね返っているSDGsは「経済・社会・自然を一体として捉えるウェディングケーキ構造」

■ 健康都市のアプローチ

中村桂子氏(東京科学大学 名誉教授)

医療のみならず、自然環境、経済、都市基盤、コミュニティなど多様な要素を統合し、住民のウェルビーイング向上を目的とするまちづくりの実現に向けた研究を紹介



3. FMとプラネタリーヘルス



3. FMとプラネタリーヘルス

医療者側の着眼点

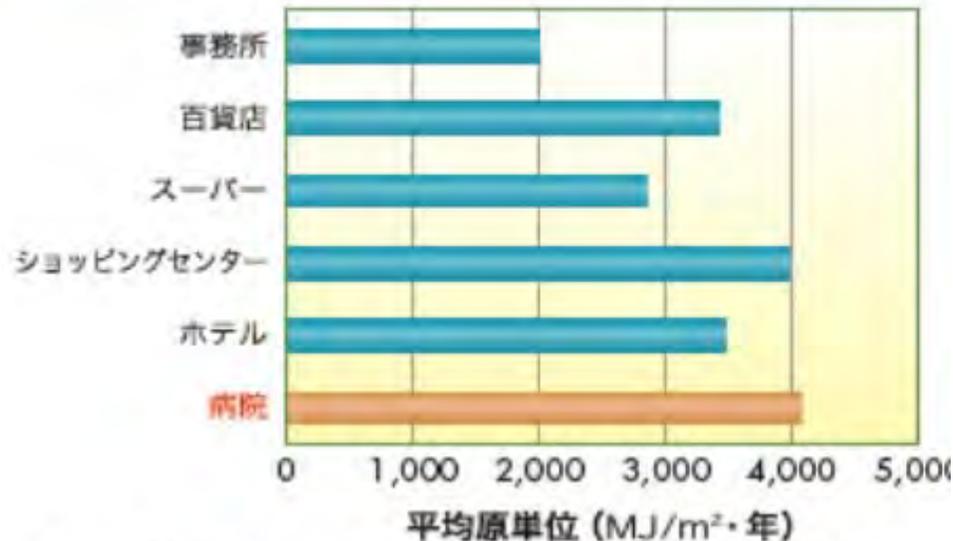
エネルギー多消費型病院への関心

×

FMerの専門知識

環境負荷低減の専門的知見

二種指定工場相当以上施設の業種別原単位



(財) 省エネルギーセンター平成15年度ビルの省エネルギー使用に係る実態調査より

エネルギーマネジメント、創エネルギー
省エネルギー技術(LED、高効率空調、
BEMS、再生可能エネルギーなど)
廃棄物管理・リサイクルシステム
水資源の有効活用



3. FMとプラネタリーヘルス

医療者側の着眼点

エネルギー多消費型病院への関心

×

FMerの専門知識

環境負荷低減の具体的技術

- ✓ 医療者への具体的な提案:
 - ・利用者を巻き込んだ省エネ活動
 - ・病院の環境負荷データの共有と解説
 - ・具体的な改善策と健康・経済的メリットの提示
 - ・環境負荷低減が医療の質に与える影響の可視化
- ✓ FMの専門知識を医療者の視点に合わせて提供



3. FMとプラネタリーヘルス

✓ 環境改善がもたらす具体的な健康メリット

患者、医療従事者、地域住民のウェルビーイング向上

患者の治療環境向上(空気質、温湿度、光環境)

人が暮らす環境の改善(ヒートアイランド緩和、感染症リスク低減)

✓ 医療者との共創の可能性

環境配慮型医療機器の導入支援

地域連携による健康増進プログラムへの参画

持続可能なヘルスケアモデルの共同構築



3. まとめ

- ✓ プラネタリーヘルス: 「地球の健康」と「人の健康」は相互に依存
- ✓ 医療者の着眼点: エネルギー多消費型病院へのFMの貢献に期待
- ✓ FMの新たな価値:
 - FMの既存の知見が、違う切り口で「地球の健康」に貢献
 - 違う視点を持った医療者との協働で「人の健康」とウェルビーイングを向上
- ✓ 病院FMは「地球と人類への戦略的な健康投資」



4. ヘルスケアFM研究部会の紹介



4. ヘルスケアFM研究部会の紹介

- 構成メンバー

病院スタッフ（施設課・医事課）、設計事務所
研究者、コンサル、メーカー、建設会社、等

- 部会テーマ

「健康・医療・福祉に関わる施設経営戦略を包括的に
扱うヘルスケアFMの導入・普及」

- 活動内容

- 1) ヘルスケア・病院FMに関する事例の研究
- 2) ヘルスケアFMのバリューアップ
のための情報交換

お試し参加、お待ちしております！



JFMAヘルスケアFM研究部会
ホームページ



ご清聴ありがとうございました



ファシリテードッグ

シャインオンザキッズ HPより

